

廃炉・汚染水・処理水対策事業に関する情報提供の募集（RFI）について

福島第一原子力発電所の廃炉は、世界にも前例のない困難な取組であり、「東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ（2019年12月改訂）」（以下「中長期ロードマップ」という）に基づく進捗管理や、技術的難易度が高い研究開発に対する支援を行うなど、国も前面に立って取り組むこととしている。

今後、中長期ロードマップの第3-①期を見据え、国が「廃炉・汚染水・処理水対策事業」で支援する研究開発テーマについて、毎年度「廃炉研究開発計画」で取りまとめているが、1号機における内部調査、遅くとも本年10月に見込まれている2号機における燃料デブリの試験的取り出しなど現場において廃炉作業が進展していることや、燃料デブリ取り出し工法評価小委員会において3号機における取り出し工法に対する提言が行われたことなどを踏まえ、福島第一原子力発電所の廃炉に向けて解決すべき技術的な課題、その課題解決に向けた研究開発の実施内容、研究開発の規模などの情報を広く募集することとする。（RFI：Request for Information）

提供いただいた情報等を踏まえ、今後の廃炉研究開発計画の検討を進めていく。

<RFI 概要>

- ・実施者：廃炉・汚染水・処理水対策事業事務局
- ・募集期間：令和6年4月8日の週から6週間程度
- ・ご参考：昨年のRFI案内

<https://dccc-program.jp/5270>

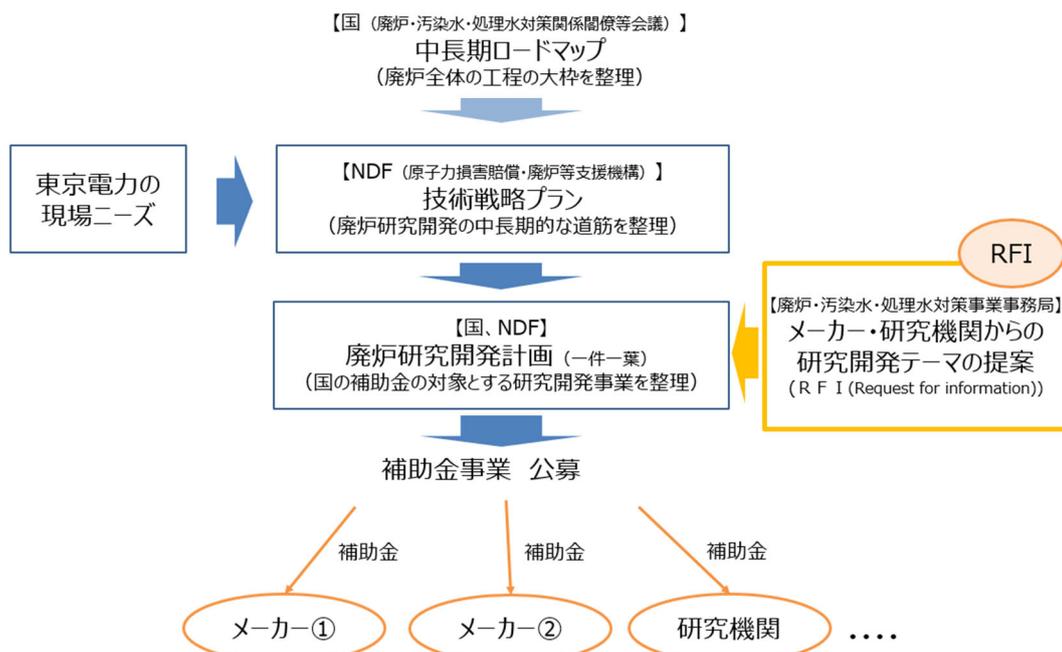


図 RFI の位置づけ